

事業所理念	「放課後等デイサービス なないろの空」はすべての子どもたちが自分らしく輝けるように私たち大人がどのように支えていけばいいのか 子どものたちの将来をみんなで協力してより良く成長できるように支える社会にできれば そんな社会が実現することを目指しています		
支援方針	さまざまな体験を土台とし 子どもたちの成長に向け 子どもたちの成長を支えるために 私たち大人ができることは何かと考えたとき 子どもたちの成長を支える環境整備が大切になります 将来社会を生き抜くチカラを身につけた大人になるためには 子どもの頃からさまざまな活動に挑戦し さまざまな経験を積み重ねていくことが必要です そのためには私たち大人が子どもの生活環境のなかに意図的にまた計画的にさまざまな体験活動の場や機会を作っていくことが必要になります 体験活動により養われる子どもたちのチカラの向上を目指します		
営業時間	【月～金】 9：00～18：00 【長期休暇中】 9：00～18：00	送迎実施の有無	月曜日～金曜日及び長期休暇中等は送迎あり 但し計画的に送迎を実施してるため送迎をお断りする場合があります
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<p><心身の健康状態の把握> 手洗いとうがいの実施、感染症や熱中症等自身の健康管理に意識を向けられるようなプログラム、日々のやり取りの中から児童の心身の状態を把握し、他機関とも情報共有することで早期サポートに努めています。(日々の観察、公園での活動、集団と個別での運動等)</p> <p><身辺自立、生活スキルの獲得の為のプログラム> 児童の課題をご家庭と共有し、個別と集団両方の活動からサポートしています。発達特性に配慮し、個々に合わせてわかりやすく伝えるようにしています。(挨拶、スケジュールボードの活用、時間、お金の使い方、手順書の活用、生活リズムの指導、お道具箱、ロッカー等の整理整頓、野菜の栽培・観察、調理等)</p> <p><社会性や共に生きる力の育成プログラム> 多様な他者とともに自ら学び自己調整力を育てます。またよりよい人間関係や信頼関係を育みます。(地域資源の活用、地域行事への参加、わかりやすい時間、空間、人等の環境設定等)</p> <p><幸せに生きるためのプログラム> ゆっくり、じっくり自分らしく成長していけるよう支援していきます。人との繋がりを持ちながら自分らしい生活を考え作っていきます。自分が幸せになっていくための力や生きていく力をつけていきます。自分が幸せに、素敵な人生、素敵な暮らしを歩んでいくために。</p>	
	運動・感覚	<p><運動活動プログラム> 身体を動かすことにより心身の発達を促していきます。</p> <p><基礎的な体力や心身の健康の保持促進プログラム> 子どもが楽しく年齢(発達段階)と能力に適した多様な身体活動に参加できるようにします。</p> <p>姿勢保持(トランポリン、バランスクッション、視覚的な掲示、体に合った椅子と机の設定等) 粗大運動(ボールを使った運動、体操、ダンス、縄跳び、バランスボール、バランスストーン等全身を使った屋内外での運動等) 微細運動(折り紙、粘土創作、アイロンビーズ、紐通し、箸や鉛筆を持つ動作等) 感覚・感触遊び(箱の中身当てゲーム、スライム等)</p>	
	認知・行動	<p><未知の状況にも対応できるプログラム> 思考力、判断力、表現力など。子どもからの発信を見守り、自発的に考えることや行動ができるように関わることを大切にしています。子どもが自分で気づき、工夫しながらよりよい方法を見つけることができるように適度なサポートや言葉掛けをすることで、発見や自信に繋げていきます。(適切な行動の習得、こんなときどうする、ルールのある遊び等)</p> <p><学んだことを人生や社会に生かそうとするプログラム> 学びに向かう力、人間性など。「できた」という達成感(自信)が次に挑戦する力に繋がるようにサポートしています。(目と手を使った活動。点描写、点つなぎ、迷路、間違い探し等)</p> <p><制作活動プログラム> 個別や共通の制作活動を通して、協力することや一緒に活動することの楽しさを体験します。(制作活動。数量、大小、色等のマッチング。○△□を使った制作、仲間探し、時間の感覚等)</p>	
	言語コミュニケーション	<p><個別プログラム> 子どもの悩みや困っている事への相談活動を通し、心を安定させるとともに自分自身を見つめ直す機会とします。(先生あのね等)</p> <p><語彙力を鍛えるプログラム> 「語彙力の習得に読書を活用」言葉を理解し言葉を使って伝える力を伸ばします。支援プログラムまたは生活のなかでさまざまな物事に出会い、言葉を知り使い方を学ぶことによって伝えることができるようになります。(想像力や語彙力の獲得。絵本の読み聞かせ、俳句作り、四季や文化に触れる等)</p> <p><言葉を理解し 言葉を使って伝える力を伸ばすプログラム> 支援プログラムまたは生活のなかでさまざまな物事に出会い、言葉を知り使い方を学ぶことによって、伝えることができるようになります。非言語コミュニケーション(ジェスチャーゲーム、表情や気持ちについて考える等)言語コミュニケーション(気持ちの伝え方、伝言ゲーム、SST等)</p>	
人間関係社会性	<p><仲間作り活動支援プログラム> ゲームや集団活動等を通じて友だち関係の拡大と深化を図ります。集団の中へ入れるようにサポートし、ルールを学ぶことや他者を理解する機会を、作っていきます。(役割、スモールステップ、わかりやすいルール設定、参加しやすい環境設定等)</p> <p><自己理解とコントロールの為のプログラム> 自分の得意なこと、苦手なことに気づくことで自己理解を深めていきます。また、自分の弱いところも認め、自己を肯定的に捉えられるようにサポートします。気持ちの葛藤が生まれた場合は、感情に折り合いをつけ、状況に応じた行動ができるようにサポートしていきます。困った時のSOSの出し方も一緒に考えていきます。(自分を知る、相手を知る活動、好きなことを伝える等)</p> <p><地域資源の活用> 地域との交流や地域の行事を知ること、実際に参加することで社会性を育てます。(地域のイベントへの参加や公園等公共施設の利用等)</p>		
家族支援	保護者 家族の子どもについての意向 今の生活やこれからの生活の希望や思い 願いに加え 家族のニーズは支援の方向そのものです 保護者 家族の思いや悩みを話し合うことはとても大切です 家族サポートこれを柱として 中心にすえること このことが家族支援です こどもを支援することはもちろんですが その保護者 家族をサポートすることが何よりもその子どものためになります 保護者 家庭の心理的負担を軽減してその子どもが安心安定の生活が送れるようにすることがこれからの生活を豊かにする方向への大切な支援につながります		
移行支援	生活が変わる時期の引継ぎ 特に(学校から社会へ)(子どもから大人へ)という2つの移行を迎える子どもたちの将来を支えるため 「放課後等デイサービス なないろの空」が中心となって福祉 教育 医療 行政 労働等を含んだネットワークを築き将来へのニーズに沿った支援の内容 具体的な支援の方法について共通理解を進め円滑な移行が行えるようにすることで一層の成長が見込めるようになります		
職員の質の向上	新人研修 スキルアップのための研修 法定研修 防災に関する研修 ケース検討会等々はもちろんのこと 「放課後等デイサービス なないろの空」が大切にしていることは 個別支援計画です 個別支援計画の内容が放課後等デイサービスの内容そのものであり その質が放課後等デイサービスの質となります 「課題がたくさんあってわからない」「どこから取り組んだらいいかわからない」とならないよう 課題を整理し優先順位をつけ支援の方向を決めるようにしています 個別支援計画を作成してしまえば終わるのではなく 子どもの変容に合わせて修正が必要になってきます 子どもに添った支援の実現には作成 実施 評価 改善のサイクルが必要です それは 常に自分の支援を振り返り 見つめ直すことになり 子どもの支援の専門家としての力量を高めることとなります		
地域支援・地域連携	地域社会の理解と協力を得ることで よりよい「放課後等デイサービス なないろの空」の提供ができます 子どもの成長を支えられ 子どもたちが安心して成長できるように 地元のコミュニティとの強力な連携を進めます		
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事(花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等) ・季節の制作活動 ・事業所で採れた野菜や果物を使ったおやつ作り ・季節の食材を使ったおやつ作り 		